

Electricians Tools

DENSAN

液晶電圧検電器 SEC-L907



DENSAN

液晶電圧検電器 SEC-L907



▼見やすい大きな液晶表示
▼データホールド機能付

電圧測定

MAX
500V
(DC/AC)

プラス

▼音と光(LED)で検電

被覆・直接検電

AC
90V
~
440V

ボタン電池3個付

特長

検電器と電圧計の一体型!

被覆検電

(AC 90V~440V)

●音と光(LED)で検電

直接検電

(AC 90V~220V)

●音と光(LED)で検電

電圧測定

MAX 500V (DC/AC)

●大きく見やすい表示
●データホールド機能付

仕様

検電機能

- 使用電圧範囲
直接検電: AC90V~220V、50/60Hz
被覆検電: AC90V~440V、50/60Hz
最大印加電圧: AC600Vまで可能
- 動作表示: 待機時→緑色LED点灯
検電時→赤色LED点灯、ブザー連続音
- 絶縁抵抗: 先端金具とグリップ(本体ケース)間DC500Vメガーにて10MΩ以上
- 絶縁耐圧: 先端金具とグリップ(本体ケース)間AC2000V1分間

電圧測定機能

- 表示: 最大「1999」液晶表示、自動極性切換
- サンプルタイム: 約2回/秒
- 入力オーバー表示: 最大桁の「1」を表示
- 最大許容入力: 500V (DC/AC)
- 電池消耗表示: 電池マーク表示 (7V以下で表示)
- 精度: 下表 (23°C 75%RH以下 結露しないこと)

	レンジ	確度	備考
直流電圧	500V	±1%rdg±2dgt	入力抵抗1MΩ
交流電圧	500V	±1.5%rdg±5dgt	入力抵抗450kMΩ、 40Hz~200Hz

共通仕様

- 使用電池: LR44×3個 (付属の電池は初回のテスト用です)
- 電池寿命: 検電待機時 3時間
電圧測定時 35時間
- 使用温度範囲: 0°C~40°C
- 寸法: 161×34×21mm
- 質量: 85g (電池、テストリード含む)



DSTAHK MADE IN CHINA



ジェフコム株式会社



ジェフコム株式会社

営業本部

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

JEFCOM

(ジェフコムホームページ: <http://www.jefcom.co.jp>)

液晶電圧検電器 SEC-L907

取扱説明書

このたびは液晶電圧検電器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

⚠ 危険

- この製品は弱電回路測定用として設計されていますので、強電回路の測定用には使用できません。強電回路には回路電圧の数倍のサージ電圧が含まれていることがあり、電気事故につながる恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

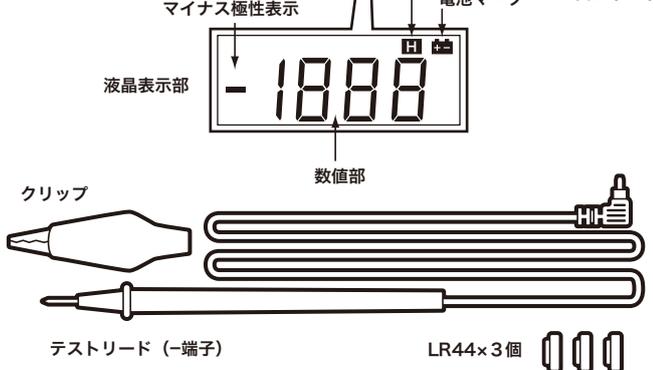
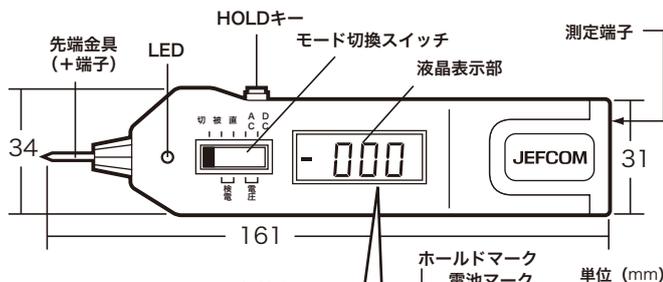
- ご使用前に本器の外観構造等に異常がないかを確認してください。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 子供には手を触れさせないでください。
- ご使用前に検電機能を既知の電源で確認してください。
- 「検電」の際は検電する周囲の状況に十分注意してください。感電の恐れがあります。
- 高電圧(600V以上)には近づけて使用しないでください。
- 「電圧測定」の際は500V以上の電圧には使用しないでください。
- 本器を無断で改造したり、分解しないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。
- 本器を濡らしたり、濡れた手で測定すると感電事故になるので注意してください。

⚠ 注意

- 検電機能において接地されていない金属管、ケース等は誘導電圧で動作することがあります。
- 保管する場合は直射日光の当たらない乾燥した所に保管してください。
- 本説明書に書いてある用途以外には絶対使用しないでください。
- 静電気を帯びた金属や磁場の影響を受けた金属に接触させると瞬間的にブザー音、LEDが感知しますが正常です。
- 基本的に対地電圧が低い場合(接地ライン)は検知しません。

セット内容&各部名称

本体 (SEC-L907)



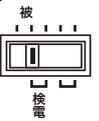
使用方法

△ ご使用前の注意

- 本体およびテストリードが傷んでいたり、リード線の被覆が破れていないか確認してください。損傷がある場合は、感電事故になりますので修理に出してください。
- モード切換えスイッチを電圧測定にした時、電池マークが点灯している場合、または検電にした時、緑LEDが点灯していない時は新しい電池と交換してください。

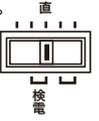
1 検電 (被覆検電)

- (1) モード切換えスイッチを「被(被覆)」にします。緑色 LEDが点灯します。緑色 LEDが暗い時は電池を交換してください。
- (2) 対象電路の被覆の上から先端金具を正しく接触させて検電を行います。
- (3) 非接地側の被覆に触れた場合は、ブザー連続音と赤色 LEDが点灯します。
- (4) 接地側の場合は音も光も反応しません。



2 検電 (直接検電)

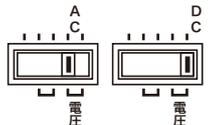
- (1) モード切換えスイッチを「直(直接)」にします。緑色 LEDが点灯します。緑色 LEDが暗い時は電池を交換してください。
- (2) 対象電路の被覆の上から先端金具を正しく接触させて検電を行います。
- (3) 非接地側の被覆に触れた場合は、ブザー連続音と赤色 LEDが点灯します。
- (4) 接地側は電池供給システム(V結線等)や接地抵抗により反応する場合と反応しない場合があります。ただしホット側は必ず反応します。



- △ ●高電圧には使用しないでください。
- 警告 ●使用前には既知の電源で動作確認をしてください。

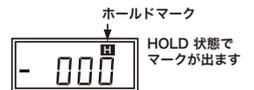
3 電圧測定

- (1) モード切換えスイッチをAC電圧、DC電圧にします。
- (2) 被測定物に先端金具、テストリードを接続し、表示を読みます。



データホールド機能

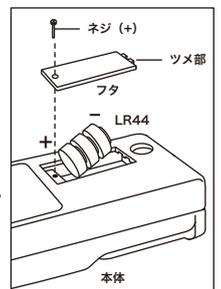
- (1) HOLDキーを押すとデータがホールドされます。
- (2) 解除は、再度キーを押します。



- △ ●最大許容入力AC、DC 500Vです。最大許容入力を超えた入力信号を加えないでください。
- 警告 ●測定中はモード切換えスイッチを切換えないでください。
- 測定中はテストリードのつまみより先端を持たないでください。

電池交換方法

- (1) 電池はLR44×3個を使用してください。
 - (2) 下記の要領で交換してください。(右図参照)
 - ① 小型のドライバーでネジをはずします。
 - ② フタは、上に持ち上げて外し、古い電池を取り出してください。
 - ③ +、-を間違えないように電池を入れてください。
 - ④ 交換後はフタのつまみを先に差し込み、ネジをしっかり締めてください。
- 注) 強く締めすぎるとネジ部がつぶれて締まらなくなる可能性がある為注意してください。



- △ ●電池交換時には、感電事故を避けるため、テストリードを被測定物より外してから行ってください。
- 警告 ●極性+、-に注意し、逆挿ししないように電池を入れてください。
- 使用済の電池をショート、分解、火中に投入しないでください。